石巻専修大学
●「石巻専修大学」ホームページ●
https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/

まちなか交流拠点オープン

大学と地域つなぐ懸け橋に

教員、学生と地域の方が意見を交わしたオープニングイベント

オープニングイベント開催

本学は、地域とのつながりを深めることを目的に、石巻中心市街地に「石巻専修大学まちなか交流拠点」を開設した。机や椅子、大型液晶モニターなどを備えた、広さ110平方㍍ほどの施設で、大学の研究活動の発信、地域住民と学生・教職員による協働の場として活用していく。

11月6日には市民を招き、オープニングイベントを開いた。あいさつに立った阿部知顕学長は、大学と地域の関係性に触れ、「学生の若い力で地域に活力をもたらしたい」と意義を語った。

「震災伝承×教育・人材育成×文化交流」と題したトークプログラムには、人間学部の新福悦郎教授と西川慧准教授が登壇。新福教授は市内の震災遺構で実施しているフィールドワークについて、西川准教授は台湾の国立東華大学と取り組む交流プログラムについて報告した。

参加者を交えた懇談では、地域のあり方などについて活発な意見交換が行われた。

今後も、大学と地域を結びつけることを目的とした多種多様なテーマのイベントを定期的に開催する。

石巻専修大学
広報係
〒986-8580
宮城県石巻市
南境新水戸1番地
☎0225-22-7717（直）

最新の情報は大学HPで。

未知の環境で視野広げる

国内留学に参加

高橋 真華さん

（経営3・宮城県涌谷高）

4月から約半年間、専修大学経営学部に「国内留学」した高橋さんに、学びの成果について聞いた。

――ゼミではどんなことに取り組んだ？

学術書や論文を読み込んで専門知識を深めたほか、マーケティングや広告を学ぶ学生を対象にした企画コンテスト「学生広告クリエーティブ賞」にも参加しました。アイデアを実現性のあるプランに落とし込む作業は大変でしたが、それ以上に、ゼミの仲間との共同作業にやりがいを感じました。地域のＰＲに関心を持つ私にとって、実社会で通用する広告表現を学べたことは良い経験になりました。

――ゼミ以外で印象に残っている授業は？

ディスカッション形式の「研究開発とイノベーションＡ」という授業です。石巻専修大学と比べて受講する学生数が多く、さまざまな価値観や考え方に触れられて新鮮でした。同時に、自分の意見をきちんと言葉にして伝えることの大切さを再認識しました。

――国内留学で得たものは？

未知の環境に身を置き、新たな人間関係を築くことで、視野が大きく広がりました。不安や緊張を乗り越えたことで自信がつき、将来を前向きに考えられるようにもなりました。まさに人生の転機となる半年間だったと感じています。

首都圏のスピード感や便利さは刺激的でしたが、石巻は人と人の距離が近く、自然も豊かで、この穏やかな環境を大切にしていきたいです。国内留学で得た視点や知識を生かし、石巻市や地元・宮城県大崎市の魅力を広く発信したいという思いが一層強まりました。

――後輩たちに伝えたいことは？

国内留学では、授業やゼミでの学びはもちろん、人との出会いや生活そのものが自分を成長させてくれます。新しい環境に飛び込むことに不安はあるかもしれませんが、勇気を持って挑戦してほしいと思います。

鯨由来の商品などを紹介した鈴木研究室のブース

理工・鈴木研究室

全国鯨フォーラムに出展

捕鯨・鯨食文化学ぶ

捕鯨と鯨食文化の普及・継承を目的にした「全国鯨フォーラム2025」が11月1日、石巻市で開かれた。2日には、捕鯨基地として知られる同市鮎川浜で関連イベントが行われ、理工学部生物科学科の鈴木英勝教授と学生が参加した。

全国鯨フォーラムは、捕鯨に縁のある自治体が持ち回りで開催。今年は4年ぶりに、近代捕鯨100年の伝統を持つ石巻市で開かれた。

低利用魚や鯨類の肉質特性について研究する鈴木研究室は、鮎川浜の観光物産交流施設「Ｃｏｔｔｕ」にブースを出展。鯨から製作した環境に優しいプラスチックフィルムや、鯨由来のプロテインスープ、鯨ジャーキー、鯨骨などを紹介した。

会場では、鯨料理の振る舞いや特産品販売、捕鯨文化に関する展示なども行われた。鈴木教授と学生たちはそれらを熱心に見学し、地域資源の活用や持続可能な水産業について理解を深めた。

岡亮佑さん（3年次・宮城県水産高）は、「鯨文化の多様性とその科学的・社会的意義について学ぶ貴重な機会になった。イベントを通じて、地域のつながりを改めて感じた」と話した。

硬式野球部　岡本さん

独立リーグ 高知FD入団

硬式野球部の岡本寛太さん（経営4・新潟県新井高）＝写真＝が、プロ野球独立リーグ・四国アイランドリーグplusに所属する高知ファイティングドッグスの特別合格選手（球団推薦選手）となり、入団が内定した。

岡本さんは、150㌔近い直球が魅力の本格派右腕。2025年の南東北大学野球リーグ戦では、春秋通算7勝0敗と抜群の成績を残し、エースとして活躍した。

石巻専修大学 × 台湾・東華大学

学生ら18人が来学 親睦深める

ワークショップを通して交流を深めた両大学の学生

10月24日、国立東華大学（台湾）の社会学部の教員2人と学生16人が来学し、地域課題解決をテーマにしたワークショップを通じて、本学の学生や教員と交流した。

ワークショップには、人間学部の学生や経営学部の菅原玲講師らが参加した。冒頭、菅原講師が石巻市雄勝地域における災害と地域創生をめぐる事例を紹介した。続いて東華大学の学生が、3日間かけて石巻市で行ったフィールドワークの成果を発表。それを受けて、両大学の学生が意見を交わした。

このイベントは、人間学部の西川慧准教授が研究代表を務め、公益財団法人石巻地域高等教育事業団が助成する「ＩＫ地域研究」（2024～25年度）に採択されたプログラムの一環として行われた。今年9月には、本学の学生と教員が台湾花蓮市でフィールドワークを実施。旧市街地の景観を生かした地域創生の取り組みや、先住民の村落をめぐる開発、2024年4月に発生した花蓮地震の影響などを学び、その成果を東華大学で発表した。

2026年度入学試験
1月5日月
出願受付開始
◆ 一般選抜〔A日程〕
◆ 大学入学共通テスト利用選抜〔A日程〕
◆ 特待生選抜〔一般選抜3科目型〕
★出願締め切り
1月16日（金）消印有効
詳細はホームページ等で必ずご確認ください。
入試情報はこちらから▶

人間学部 人間教育学科　保育学研究室 × 図書館ボランティアLOVERARY
メリーショクイクリスマス
日 時：12/21（日）11:00～14:00
場 所：イオンモール石巻
内 容：絵本の読み聞かせ
ぬりえワークショップ
絵本
食育
保育